

【肝炎医療コーディネーターとは??】

基本的な役割

- ・地域や職域における肝疾患への理解の浸透・啓発
- ・患者やその家族からの相談に対する助言
- ・行政や肝疾患診療連携拠点病院（鹿児島大学病院）などの相談窓口の案内
- ・肝炎ウイルス検査の受検の勧奨・陽性者等に対する専門医療機関の受診の勧奨
- ・医療費助成などの制度説明

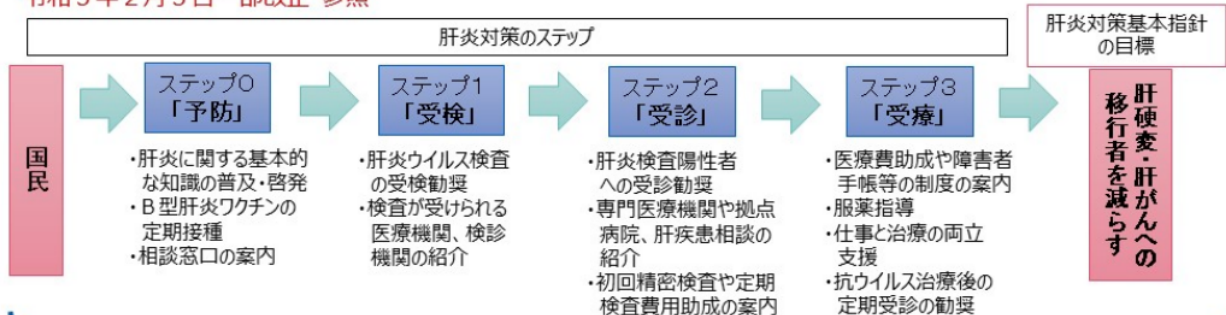
どんな場所で活動しているのですか??



- ★病院：患者さんからの直接的な相談
（生活全般・医療費制度案内・薬剤指導・栄養指導）等
検査結果の確認と対応（受診・治療状況確認、受診勧奨・）
- ★保健所・市町村：肝炎検査の受検勧奨、肝炎ウイルス陽性者に対する受診勧奨、
フォローアップ事業案内、B型肝炎ワクチン接種案内、感染予防啓発指導等
- ★民間企業：従業員などへの肝炎の基本知識の啓発、治療をうけながら仕事が継続できるための助言や就
労上の配慮、職域における啓発活動等
- ★一般：地域における啓発活動の周知、肝炎ウイルス検査の受検案内、相談先の案内等

肝炎医療コーディネーターについて

「肝炎医療コーディネーターの養成及び活用について」健発0425第4号平成29年4月25日厚生労働省健康局長通知
令和5年2月3日一部改正 参照



肝炎医療コーディネーター

1人で全ての役割を担うのではなく、様々な領域のコーディネーターがそれぞれの強みを活かして患者をみんなでサポートし、肝炎医療が適切に促進される様に調整（コーディネート）する



身近な地域や職域、あるいは病院等に配置され、その配置場所や職種などに応じて、必要とされる肝炎に関する基礎的な知識や情報を提供し、肝炎への理解の浸透、相談に対する助言や相談窓口の案内、受検や受診の勧奨、肝炎患者等に係る支援制度の説明などを行う。他の肝炎医療コーディネーターとも協力・連携することで、肝炎の「予防」、「受検」、「受診」、「治療」と「フォローアップ」が促進されることが期待される。

さらに、身近な地域や職域で肝炎医療コーディネーターが活動し、肝炎への理解や正しい知識を社会に広げる基盤が構築されることにより肝炎患者等への偏見や差別の解消に繋がることも期待される。

参照リンク：[肝炎医療コーディネーターについて | 厚生労働省 \(mhlw.go.jp\)](https://www.mhlw.go.jp)